

<p>4月</p> <p>4/ 1sun. ~ 4/28sat.</p> <p>ますみつ三知子 Michiko Masumitsu 鹿児島県鹿児島市 (立体)</p> <p>「墮天使の旅 『涅槃のビーナス bon appetit』</p> <p>日常品と非日常品の間にあるような木のオブジェ。</p> 	<p>5月</p> <p>4/29sun. ~ 5/29tue.</p> <p>安部沙保里 Saori Abe 大分県大分市 (油彩)</p> <p>「安部沙保里展 『日常に潜む輝き』」</p> <p>現実の風景やモチーフを独自のイメージでとらえ、線と色が融合された新世界へと広げていく。</p> 	<p>6月</p> <p>5/30wed. ~ 6/28thu.</p> <p>竹内 まみ Mami Takeuchi 沖縄県那覇市 (工芸/紅型)</p> <p>「日々を編む ～竹内まみ染色作品展」</p> <p>沖縄の紅型を基本に自由に染めた作品は、素材すらも概念を越える。</p> 
<p>7月</p> <p>6/29fri. ~ 7/29sun.</p> <p>山口 保子 Yasuko Yamaguchi 長崎県佐世保市 (造形絵画)</p> <p>「万華興～共鳴する色と形」</p> <p>無限に広がる色と形の組み合わせを独自のカタチで組んでいく。</p> 	<p>8月</p> <p>7/30mon. ~ 8/28tue.</p> <p>水崎 勝司 Katsushi Mizusaki 福岡県北九州市 (現代美術)</p> <p>「水崎勝司 新しい絵画への挑戦」</p> <p>表も裏もない、平面でありながら立体のように“表現”への挑戦状。</p> 	<p>9月</p> <p>8/29wed. ~ 9/27thu.</p> <p>宮塚 春美 Harumi Miyatsuka 東京都世田谷区 (油彩)</p> <p>「noise 消えた風景のノイズを色と線で迎える試み」</p> <p>消えた風景の中に有るものを「ノイズ」を拾うように木炭で白いキャンパスとの接点を探す。</p> 
<p>10月</p> <p>9/28fri. ~ 10/29mon.</p> <p>東勝吉賞実行委員会 [アート委員会自主企画展] (水彩画)</p> <p>「第五回東勝吉賞水彩画公募展 『陽はまた昇る～83歳からの出発～』」</p> <p>東勝吉氏の功績を称え、83歳以上が対象の水彩画公募展。全国・世界からの公募。</p> 	<p>11月</p> <p>10/30tue. ~ 11/28wed.</p> <p>宮川 chapa 未都子 Mitsuko Miyagawa 千葉県浦安市 (絵画)</p> <p>「これから - Searching to The Next -」</p> <p>日本での原点からNY留学時代と、多岐に渡る自由でエネルギー溢れる作品。</p> 	<p>12月</p> <p>11/29thu. ~ 12/27thu.</p> <p>須藤有希・仲松美結 Yuki Sutou Mitsu Nakamatsu 大分県大分市・由布市 (日本画)</p> <p>「須藤有希・仲松美結 『いとこ展』」</p> <p>自然と共存する様々なモチーフに人の姿を重ね「人の寂しさや悔しさ」をテーマにする。それぞれの違う視点で「自然」と向き合う。</p> 
<p>1月</p> <p>12/28fri. ~ 1/29tue.</p> <p>よでん圭子 Keiko Yoden 愛知県豊明市 (油彩)</p> <p>「よでん圭子 Drawing of AN OPEN MIND」</p> <p>大胆で伸びやかな線が特徴の裸婦の心象画。生エネルギーがあふれ出す、生命への賛歌。</p> 	<p>2月</p> <p>2019 1/30wed. ~ 2/28thu.</p> <p>安藤 圭汰 Keita Ando 福岡県福岡市 (ペン画)</p> <p>「骨。或いは山」</p> <p>ペンならではの繊細さと無材質感。その中に生と死の融合と不条理が見える。</p> 	<p>3月</p> <p>3/ 1fri. ~ 3/31sun.</p> <p>足立 朱麻 Mima Adachi 鹿児島県鹿児島市 (油彩)</p> <p>「おとろろ」</p> <p>言葉にできない言葉「音のカタチ」、感じる色で伝えたいキモチを「色のキモチ」として描く。</p> 

※写真はイメージですので、展示とことなる場合がございます。



由布院駅アートホールとは。。。

JR 由布院駅は1990年12月に磯崎新氏的设计により建て直され、天窗から自然光が取り入れられ、木材と天然石等の質感や色調により、開放的で明るい空間の待合室とアートギャラリーを兼ねています。全国・世界から多くのお客様が訪れます。企画運営は、ボランティアスタッフで構成する「ゆふいんアート委員会」が行います。

由布院駅アートホール
open 8:30 ~ close 19:00
年中無休

■壁面への展示方法

- ◇ピクチャーレール、ワイヤー2.0m×10本・2.5m×50本 専用フック60個、耐荷重量20kg
- ◇直接壁の展示(画鋸、虫ピン、タッカーのみ)
- ◇仮設パネル(壁面に掛けて使用) 釘など使用可 縦198cm×横120cm×厚9cm 15枚

■その他の展示方法

- 床面・天井(軽いものに限る)
※椅子50脚と机4台は、ホール内に必ず配置すること
配置換えは可能です(事務局まで要相談)

■展示用備品

- 画鋸、虫ピン、タッカー、工具、脚立など
展示台等はなし(必要な場合は企画者側で用意のこと)

■その他

- 待合室として、ご利用のお客様への配慮(作品の盗難・転倒防止等)を重ねてお願いします。